

Hm²助成団体決定!



ひと・まち
広島未来づくり
ファンド
ふむふむ
Hm²

平成28年5月14日(土)、合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)にて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」第14回助成事業の公開審査を行いました。

今回の助成事業には、30団体(団体育成助成部門3団体、まちづくり活動発展助成部門27団体)からの応募がありました。

このうち、育成部門は書類選考で3団体を決定。発展部門は15団体が書類審査を通過後、公開審査会に臨み、創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。

(審査結果は下表のとおりです。)

今後、助成団体による活動状況についての中間発表会を開催します。どなたでもご覧いただけます。

中間発表会

- 日時:11月13日(日)午後1時～4時半(予定)
- 場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟ギャラリー

団体育成助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
こうごまちサロン会	庚午北3丁目にも高齢者サロンを! ひだまりサロン	5.0万円
(広島市学校栄養士OB)食育グループパクパク	子どもの心と体を育む「食育教室パクパク」	5.0万円
プチボカ会	まちづくりフォト支援活動	3.8万円
計 3団体		13.8万円

まちづくり活動発展助成部門

団体名	活動企画案内	助成金額
真亀一丁目花の会	団地を花いっぱい	15.8万円
湯来里山会	畑ガールプロジェクト	10.2万円
八幡東ほうれんそうネット	子どもが主役の遊びで学ぶ防災ワークショップ	12万円
観光アシスタントひろしま	平和公園のガイド依頼「全件受入れ」を目指して観光アシスタントひろしま	26.3万円
特定非営利活動法人フリースクール木のねっこ	学びを深めるフリースクール活動	27.6万円
特定非営利活動法人虹橋の会	中国帰国者の力を生かして「ヒロシマの心」を広く伝えよう	40.7万円
鯉城の会	市外から訪れる障害者の介助／鯉城の会	16.5万円
広島湾岸トレイル協議会	広島湾岸トレイルの広報、開発、維持管理、運営	48.3万円
美鈴が丘西集会所運営委員会	集会所クールシェア・エコライフ(グリーンカーテン&子どもエコ教室)	5.9万円
笑顔つながり隊	子育てと健康と地域をつなぐ活動	31.6万円
プラットホーム安芸飯室運営委員会	リポーン安芸飯室駅～道の駅として	37.9万円
アーキワーク広島	地域のお宝!被服支廠の価値共有プロジェクト	26.5万円
計 12団体		299.3万円

寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支え育てていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限り)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



▲ 第14回助成事業公開審査会



▲ 第14回助成事業公開審査会

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
ふむふむ
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額、活動報告等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…
【ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Miraizukuri)ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって“ふむふむ”と読みます。[ひと]と[まち]をつなぎ、[広島]の[未来]を創造するファンドで、みんなが“ふむふむ”と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

Hm²助成支援団体のご紹介

こうごまちサロン会

すがわら ひろし
代表 菅原 博さん

地域の高齢者同士や他世代の住民が、お茶を飲みながら語り合っ、コミュニケーションを持つ場所を提供する目的で、平成28年2月に結成されたのが「こうごまちサロン会」です。

「4～5年前から、庚午北・中の各町内の民生委員が中心になって、地域のコミュニケーションを図る場所として、公民館や集会所で5ヶ所のサロン会を開いてきました。しかし、庚午北三丁目は、高齢者が多く住む地区にも関わらず、適切な場所がなく、この地区に住む高齢者に会に参加したい人は、わざわざ他の地区へ出掛けていました。そこで、



▲ ひだまりサロンの様子

地域の交流促進を図るとともに、参加者の移動の負担を軽減するために、庚午北三丁目にも新たな会「ひだまりサロン」を開くことになり、それまでの庚午北・中のサロン会とまとめる組織としてつくったのが、こうごまちサロン会です」と代表の菅原博さんは語ります。

このようなサロンを始めるまでは、地区の民生委員が高齢者を訪問しても、それぞれの

近況確認などにとどまり、高齢者同士が交流する機会は少なかったといいます。始めてからは、会を通じて高齢者同士が交流し支え合い、お互いに刺激し合うことで、生活するにあたってのモチベーションアップにもつながっているそうです。

世代を超えて交流を深めることが地域活性化へ

40～60代のスタッフ17人で運営を始めた「ひだまりサロン」は、月2回、庚午北三丁目内の民間施設を借りて開かれ、毎回65歳から90代までの高齢者15人前後が参加。お茶と簡単なお菓子が用意されて、2時間の中でお互いの近況を報告し合うほか、楽器の演奏会、健康に関する相談会、ストレッチ教室など多彩な内容で行っています。

「立ち上げて間もない現在は、民生委員が中心となって参加する高齢者のお世話をしていますが、今後は、徐々に参加者の中でも元気な方や、地域の若い方にもスタッフとして加わってもらえればと考えています。そうすることで、世代を超えた親睦が深まって地域が活性化すると考えています」と、菅原さんは今後について語ってくれました。



▲ ひだまりサロン会場

真亀一丁目花の会

ひろ た みつはる
事務局長 廣田 充晴さん

高齢化する団地の住民の交流の場として、花作りを通してふれあいと憩いの場を提供する目的で平成24年4月に結成されたのが、「真亀一丁目花の会」です。

「もともと真亀一丁目のある団地の法面が葛かずらや雑草に覆われ、害虫の発生源となるなど環境面に問題が生じており住民は悩みを抱えていました。そこで平成21年から町内の有志で、葛かずらをおよそ2年がかりで除去。その後も、放置しておくと同じ状態に戻るので平成23年からボランティアで、法面の除草活動に着手。除草した場所をそのままにしておくのももったいないので、花を植えてきれいにしようということになりました」と事務局長の廣田充晴さんは語ります。



▲ メンバーで花壇を手入れする様子

せています。また残り約300㎡は、共同管理区域として共同責任で花を育てています。この部分は広さもあることから、花の配色や配列にも工夫を凝らして、夏場はサフィニアとボーチュラカ、冬場は葉ボタンとパンジーといった形で、年間を通して見る人にも楽しんでもらえるように取り組んできました。

「高齢化が進む団地ですが、年を重ねるごとに参加してくれる住民が少しずつ増えています。メンバーは日々、花壇に集まって楽しく話をしながら手入れをし、憩いの場にもなっています。今年は町内の保育園児も花の植替えに協力してくれて、世代を超えた地域住民の交流にも繋がっています。今後も単に花を育てる



▲ 保育園児と花の植替えをする様子



▲ 花壇にはさまざまな花がきれいに咲いています

場としてではなく、もっと住民交流の場になるように、知恵を絞ってさまざまなことに取り組んでいきたいですね」と、廣田さんは今後について語ってくれました。

Inteeview 1

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

みやはら みすず
パステルチョークのメルヘンはがき作り 宮原 美鈴さん



宮原美鈴さん

アートを通じて、季節の移り変わりや自然を感じてもらう。 感覚や感性に働きかけ、新たな自分を発見する手がかりに

コットンや綿棒、テーマによっては直にチョークを、さらに手などを使って、基本となる赤、黄、青の3原色を用いて季節の移ろいや自然、描き手が感じたことを描くパステルチョークアート。この手法で、メルヘンなはがき作りに取り組んでいるのが、平成24年に人材バンクに登録した、宮原美鈴さんです。

学生時代から、絵を描くことが大好きだった宮原さんは、短大の美術科を卒業後も絵を描くこと以外に創作クラフトにも取り組んできました。PTAや児童館などの活動の中で、自身が創作活動で経験し、得たアートの魅力を子どもたちにも伝えたいと思い、その一つとして、パステルチョークアートによるはがき作



▲パステルチョークアート作品



▲パステルチョークでメルヘンはがきを作る様子

りを行っています。
「例えば人が絵を描こうとした場合、同じ人でも、その時々によって感じ方は異なり、描き方、色使いも異なります。シンプルな手法で自然と触れ合ったり、表現する楽しさ、色と出合う喜びや色が広がり響きあう世界を体験していただき、毎日の生活の中にアートと触れ合う時間を持ち、幸福感や生命力を感じてもらい

たいと考えています」。

定期的に幼稚園や保育園、小学校、公民館、福祉センター、文化センターでの創作活動を行い、幼児から高齢者まで幅広い世代の方や、障害者の皆さんに、アートを創作することで、感覚や感性に働きかけ自分を表現するサポートをしています。また他にも、子どもたちに人気のエッグアートや、自然や日常生活にあるものを使ったクラフトワーク全般にも意欲的に取り組んでいます。

「アートを通して、色の美しさや季節感を感じてもらう。その時、その場所で色々なことを発見する、その過程を大切にしてもらえれば」と、パステルチョークアートを教えている理由を語ってくれました。

今後も、創作活動を通じてアートの魅力を伝えていくという目標を持っている宮原さんの活動が、どのように広がっていくのか楽しみです。



▲エッグアートを創作する様子



▲エッグアート作品

Inteeview 2

そうきよく げんけいかい
箏曲グループ玄恵会 おとぎ組 代表 にしもと けいこ
西本 恵子さん

和楽器の演奏にのって語り継ぐ、美しき日本の昔話の情景。 そこから生まれる、親子や人と人との触れ合い

子どもたちの情操を育む手段として、さらには親子や人と人との触れ合いの手段として、忘れられつつある日本の昔話の情景を、和楽器が奏でる音楽にのせて語り継いでいきたいとの思いから平成13年に結成されたのが、「箏曲グループ玄恵会 おとぎ組」です。

幼少の頃から箏を習い、大人になってからは教える立場で、箏の普及に努めていた西本恵子さんは、教えるだけでなく、幅広い人たちに興味を持ってもらう手段を模索してきました。その中で旧知の音楽仲間に相談しながら、箏に加えて、尺八や打楽器を加えた編成で音楽を奏で、その音楽に合わせて、映像化した昔話を語り継ぎ、伝えていく方法を生み出します。

「昔話は絵本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりなどで、皆さん小さい頃から親しんできたと思います。しかし、成長するに連れてその記憶もだんだんと忘れがちになっています。それをそのまま忘れるのではなく、音楽のリズムにのせて楽しむこと



▲公演の様子

で、また新たな記憶としてその人の心に刻まれ、受け継がれていくのではないかと思います。日本の昔話には美しい情景がたくさんあります。それを和楽器の音色とともに思い浮かべて、子どもの頃を思い出したり、親子のコミュニケーションのきっかけにもなれば」と話す西本さん。平成15年に人材バンクに登録。箏や尺八、打楽器など

和楽器を使って台詞以外の効果音を巧みに演奏する手法は、年月が経つにつれて評価を高め、今では幼稚園や保育園、小学校をはじめ、児童館や公民館、老人施設でのイベントに招かれている他、福祉施設や広島市内各区民文化センターで開かれるイベントにも出演。

昔話の作品レパートリーは、「ももたろう」や「若返りの水」などおよそ20作品あるそうです。公演では、参加者の年齢層に応じて、時には叙情歌や流行歌、歌謡曲、童謡、アニメソングなどを一緒に歌って楽しんでいます。

「昔話の公演で演奏する曲はすべて手作り。100話はあるという作品に挑戦していきたい。またこの活動を通して、幅広い人たちに和楽器の魅力についても、興味を持ってもらいたいです」と西本さんは今後の活動について語ってくれました。



▲公演の様子



メンバーの皆さん

平成28年度広島市高齢者作品展 「達人たちの夢2016」協賛 まちづくりボランティア 人材バンク発表会

- 日時／平成 28 年9月4日（日）
午前 11 時～午後 3 時半（途中休憩あり）
- 場所／北棟6階マルチメディアスタジオ
- 参加費・申込／不要

予定時間	内 容	出演者名
11:00～12:00	子ども神楽の上演	NPO法人上中調子神楽団 あおぞら子供神楽団
13:30～14:15	子ども達による箏の演奏	箏曲グループ玄恵会 「KOTO倶楽部めぐみ」
14:15～14:45	お楽しみ！フリーパフォーマンス・タイム	人材バンクの達人たち
14:45～15:30	津軽の風音(津軽じゃんがら曲弾き合奏ほか)	津軽三味線 「悠久の会」

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

まちづくりボランティア 人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露します。
気軽にお立ち寄りください。

- 日時／毎月第4土曜日 午後2時～3時半
- 場所／南棟1階ロビー
- 参加費・申込／原則不要

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。
※達人紹介は、団体・グループからの依頼に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。
※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

開催日	内 容	出演者名
8月27日(土)	子育て講演会 ～親も子も輝いて生きていくために～	宮田 晃さん
9月24日(土)	箏とサックスで昭和歌謡 ～一緒に歌いましょう～	箏・サックスアンサンブル香音ひろしま
10月22日(土)	歌舞伎に親しむ ～その歴史から鑑賞法まで～	浅尾 哲三さん
11月26日(土)	終活ミニセミナー ～最近のお墓事情～	堀 暢貴さん

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

達人紹介・達人登録などのお申込・お問い合わせ先

合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)
☎(082)545-3911 FAX(082)545-3838